



平成28年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年3月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フジ・コーポレーション
コード番号 7605 URL <http://www.fuji-corporation.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 文樹
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部長 (氏名) 多賀 睦実

TEL 022-348-3300

四半期報告書提出予定日 平成28年3月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年10月期第1四半期の業績(平成27年11月1日～平成28年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第1四半期	10,510	4.0	1,387	△2.8	1,438	△3.4	947	0.9
27年10月期第1四半期	10,103	9.8	1,427	7.1	1,488	10.5	939	16.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年10月期第1四半期	100.24	—
27年10月期第1四半期	99.86	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
28年10月期第1四半期	19,803	52.1	10,324	39.0	—	—	1,021.84	—
27年10月期	21,489	39.0	8,386	—	—	—	891.78	—

(参考)自己資本 28年10月期第1四半期 10,324百万円 27年10月期 8,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年10月期	—	0.00	—	25.00	25.00
28年10月期	—	—	—	—	—
28年10月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年10月期の業績予想(平成27年11月1日～平成28年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,851	6.2	2,098	13.9	2,121	10.7	1,428	19.7	145.47
通期	28,500	3.3	2,400	9.2	2,450	2.9	1,650	2.8	164.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年10月期1Q	10,380,000 株	27年10月期	9,680,000 株
② 期末自己株式数	28年10月期1Q	276,288 株	27年10月期	276,288 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年10月期1Q	9,449,364 株	27年10月期1Q	9,403,857 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7
4. 補足情報	8
販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成27年11月1日～平成28年1月31日)における我が国の経済は、政府の経済政策や金融政策の効果もあり、企業収益の改善を背景に下支えがあったものの、足許では急激な株安・円高に見舞われ、企業の景況感や個人消費者マインドに陰りが見え始めました。また、米国経済の鈍化や中国をはじめとする新興国の景気減速懸念等、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社におきましては、暖冬の影響によりスタッドレスタイヤの需要が平成28年1月以降にずれ込んだことで店舗売上は厳しい状況が続いたものの、通販売上・業販売上は平成27年9月竣工の第3ロジスティクス及び自動組込装置が順調に稼働したことにより好調に推移しました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は10,510百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益は1,387百万円(前年同期比2.8%減)、経常利益は1,438百万円(前年同期比3.4%減)、四半期純利益は947百万円(前年同期比0.9%増)と増収増益となりました。

品種別売上高の状況は、タイヤは6,798百万円(前年同期比2.6%増)、ホイールは2,609百万円(前年同期比9.0%増)、用品は270百万円(前年同期比7.4%増)、作業料は831百万円(前年同期比0.0%増)となりました。また、販路別売上高の状況は、店舗売上高は6,303百万円(前年同期比1.5%減)、本部売上高(通販)は2,968百万円(前年同期比16.0%増)、本部売上高(卸)は1,238百万円(前年同期比8.6%増)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期会計期間末における資産は19,803百万円(前事業年度末比1,685百万円の減少)となりました。主な変動要因は、現金及び預金215百万円の増加、商品660百万円の減少、未収入金394百万円の減少、売掛金565百万円の減少、有形固定資産146百万円の減少などによるものであります。

また、負債は9,479百万円(前事業年度末比3,623百万円の減少)となりました。主な変動要因は、短期借入金2,700百万円の減少、長期借入金100百万円の減少、買掛金1,150百万円の減少、前受金135百万円の減少、流動負債のその他に含まれる未払消費税等236百万円の増加、未払配当金205百万円の増加などによるものであります。

なお、純資産は10,324百万円(前事業年度末比1,938百万円の増加)となりました。主な変動要因は、公募増資による資本金613百万円の増加及び資本剰余金613百万円の増加、利益剰余金712百万円の増加などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、平成27年12月14日に公表しました「平成27年10月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の算出方法)

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年10月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	324,685	539,744
売掛金	1,926,419	1,360,664
商品	5,028,770	4,368,185
未収入金	948,390	554,046
その他	514,322	359,254
貸倒引当金	△90	△90
流動資産合計	8,742,496	7,181,804
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,837,227	5,837,227
減価償却累計額	△838,219	△890,810
建物(純額)	4,999,008	4,946,417
土地	3,296,956	3,296,956
その他	5,214,106	5,255,960
減価償却累計額	△1,869,633	△2,004,914
その他(純額)	3,344,472	3,251,045
有形固定資産合計	11,640,437	11,494,419
無形固定資産	176,616	162,867
投資その他の資産		
その他	929,848	964,985
貸倒引当金	△225	△225
投資その他の資産合計	929,622	964,759
固定資産合計	12,746,677	12,622,046
資産合計	21,489,173	19,803,851

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年10月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,698,579	1,548,108
短期借入金	2,700,000	—
1年内返済予定の長期借入金	726,666	816,666
未払法人税等	490,583	508,156
賞与引当金	64,670	22,840
前受金	357,097	221,924
その他	477,565	941,333
流動負債合計	7,515,161	4,059,029
固定負債		
長期借入金	4,963,333	4,773,333
退職給付引当金	97,405	101,981
資産除去債務	157,044	157,786
その他	370,227	387,326
固定負債合計	5,588,010	5,420,427
負債合計	13,103,172	9,479,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	531,400	1,144,544
資本剰余金	568,000	1,181,144
利益剰余金	7,319,266	8,031,371
自己株式	△32,665	△32,665
株主資本合計	8,386,000	10,324,393
純資産合計	8,386,000	10,324,393
負債純資産合計	21,489,173	19,803,851

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)
売上高	10,103,350	10,510,422
売上原価	6,894,487	7,163,486
売上総利益	3,208,862	3,346,936
販売費及び一般管理費	1,781,255	1,959,108
営業利益	1,427,606	1,387,828
営業外収益		
受取利息	1,219	1,298
為替差益	70,029	—
協賛金収入	12,251	42,168
その他	13,123	12,422
営業外収益合計	96,624	55,889
営業外費用		
支払利息	5,021	3,915
為替差損	—	1,202
シンジケートローン手数料	30,500	—
その他	485	279
営業外費用合計	36,006	5,397
経常利益	1,488,224	1,438,321
特別利益		
固定資産売却益	1,020	1,705
特別利益合計	1,020	1,705
税引前四半期純利益	1,489,244	1,440,026
法人税等	550,178	492,829
四半期純利益	939,066	947,197

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年1月26日付で、公募増資による払込みを受けました。この結果、当第1四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ613,144千円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が1,144,544千円、資本剰余金が1,181,144千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、カー用品等販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成28年1月5日開催の取締役会において、オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して行う第三者割当増資による新株式の発行を決議しており、平成28年2月16日に払込みが完了しております。その概要は次のとおりです。

- ① 募集方法：第三者割当(割当先：野村證券株式会社)
- ② 発行する株式数：普通株式 105,000株
- ③ 払込金額：1株につき 1,751.84円
- ④ 払込金額の総額： 183,943,200円
- ⑤ 資本組入額： 91,971,600円
- ⑥ 払込期日： 平成28年2月16日
- ⑦ 資金の用途：タイヤ・ホイールの仕入に係る運転資金として全額充当する予定であります。

4. 補足情報

販売の状況

(品種別売上高)

品種	前第1四半期累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年1月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年1月31日)	
	売上実績(千円)	構成比(%)	売上実績(千円)	構成比(%)
タイヤ	6,625,886	65.6	6,798,482	64.7
ホイール	2,394,084	23.7	2,609,650	24.8
用品	252,172	2.5	270,867	2.6
作業料	831,206	8.2	831,422	7.9
合計	10,103,350	100.0	10,510,422	100.0

(販路別売上高)

形態	前第1四半期累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年1月31日)		当第1四半期累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年1月31日)	
	売上実績(千円)	構成比(%)	売上実績(千円)	構成比(%)
店舗売上	6,402,613	63.4	6,303,422	60.0
本部売上(通販)	2,560,455	25.3	2,968,940	28.2
本部売上(卸)	1,140,280	11.3	1,238,060	11.8
合計	10,103,350	100.0	10,510,422	100.0